

外国人日本語学習者を対象とした ChatGPT を用いた日本語作文トレーニング

Japanese Composition Training Using ChatGPT for Foreign Japanese Language Learners

孔 令杰^{*1}, 野崎 浩成^{*1}
KONG LINGJIE^{*1}, Nozaki Hironari^{*2}

^{*1} 愛知教育大学 教育研究科

^{*1}Aichi University of Education, Cooperative Doctoral Course in Subject Development
Email: speeding0417@gmail.com

あらまし：本研究では、外国人日本語学習者向けに ChatGPT を活用した日本語作文トレーニングの効果を検証する。ChatGPT を日本語に適応し、学習者の言語レベルとニーズに合わせたトピックを提供する実証実験を行う。学習者は ChatGPT と対話し、リアルなフィードバックを通じて日本語の表現力と論理展開を向上させることを目指す。トピック設定やフィードバックの質の影響を評価し、新しい学習手法の実用性を明らかにする。本研究の成果は、外国人日本語学習者が実践的な方法で作文スキルを向上させる手段となり、言語教育分野に新たな展望を提供することが期待される。

キーワード：ChatGPT, 日本語学習, 日本語作文トレーニング, 日本語教育

1. はじめに

伝統的な学習手法では、言語の正確さに焦点を当てることで、学習者が新しい表現を試みる可能性が低くなる(趙 2020)。これによって得られるスキルは抽象的であり、まだ実際名古屋に勤めている日本語教育現場の先生とのインタビューで、その方は「現在の作文トレーニングは、日常のコミュニケーションや実用的な文書の作成に直結しづらいという問題があった」とおっしゃった。

その一方、TB Brown (2020) によると、ChatGPT は少ないサンプルでも学習が可能なモデルであることを示唆しており、自然言語処理技術の進歩が言語学習への新たな可能性を切り開いている。特に、ChatGPT のような大規模な言語生成モデルは、自然な対話を模倣できるだけでなく、学習者との対話を通じてリアルな言語使用の場面を提供できる。

加えて、外国人日本語学習者が直面する課題の一つは、平田 (2006) によると、外国人日本語学習者が実際に日本で日本語を使ってみると自国で学んだこととは相違があったり、間違いを訂正されないまま身につけてしまったことなどが影響して、日本の大学で勉強しているわりには日本語が伸びないという問題だと述べている。いわゆる、習得した知識を実際のコミュニケーションや文章作成にどれだけ効果的に応用できない。単語や文法の理解だけではなく、それを活かして自らの意見を述べ、他者とコミュニケーションを取るスキルが必要である。従来の学習手法では、このような実践的なスキルの習得が難しく、学習者は日本語を単なる教科書の知識として捉えてしまう傾向があると考えられる。

近年の言語生成モデルの進化により、ChatGPT は従来のような単なる応答生成モデルを超えて、特定のトピックに沿った具体的な指導やフィードバックを提供できるようになって、この進歩は、学習者に

対してより効果的で適切なトレーニングを提供する可能性を秘めているだろう。

以上の背景から、外国人日本語学習者にとって、より効果的な作文スキルトレーニング環境を構築するために、ChatGPT を活用した実践的な日本語作文トレーニングの研究が意義深いものとなると期待する。

2. 先行研究

2. 1. 「ChatGPT を活用したエッセイライティング学習の検討」

外山(2023)は、英会話のロールプレイ学習や英文エッセイの添削・改善提案を通じたエッセイライティング学習において、ChatGPT の活用が一定の効果を示し、更に進んで、IELTS (留学・就労・移住のための英語能力測定試験) の採点者による評価と比較することで、ChatGPT を活用した学習システムの有用性や評価の正確性を検証した。ChatGPT が言語学習に役立つことを示した。

2. 2. 「大規模言語モデル ChatGPT を活用した翻訳トレーニングと外国語教育」

山田 (2023) によると、ChatGPT は、学習者の習熟度に合わせた、複数の英文バリエーションを提供できるため、Good Model として学習スキームを最適化できる。英語教育 (学習) にメタ言語を取り入れることは、言葉に対する問いを立てる能力の涵養に繋がり、ChatGPT のような対話型インターフェースでは、自律的な学習を促進すると述べ、ChatGPT を用いた言語学習ツールを提示した (山田 2023)。

2. 3. 「AI を活用して英語論文を作成する 日本語話者にとっての課題とその対策」

柳瀬 (2023) は、英語論文の作成において AI を

活用する際には、AIが苦手とする領域においては人間が最良の結果を出すことが不可欠であるという基本的な考え方にに基づき、日本語話者が果たすべき役割について述べた。将来においてもAIは急速に進化し続けるでしょう。AIが得意な領域と人間が得意な領域を明確にし、双方がお互いに補完しながら作業を進めることがますます重要になると思われ、ChatGPTを用いた作文トレーニングの可能性を示した(柳瀬 2023)。

以上の先行研究で得られた知見を踏まえて、本稿では、外国人日本語学習者を対象としたChatGPTを用いた日本語作文トレーニングに関する研究方法等を、以下で述べていく。

3. 研究方法

3.1 研究計画対象の選定

国籍と関わらず、名古屋にある日本語学校の初級、中級、上級クラスから各4名と、既に大学へ入学した外国人大学生4人を対象とする。

3.2 アンケート調査

調査対象に実験前と終わった後に二回アンケート調査を実施する。アンケート項目については、「ChatGPTの利用経験」などである。

3.3 トピック設定

トピックは全部日本語学校で使っている教科書から選定する。全部で4つを選定し、週1回、合計1が月で実行する。

3.4 実証実験

上記の調査対象をChatGPTを用いた日本語作文トレーニング組とChatGPT使わない組でグループに分ける。各グループに初級クラス2名、中級クラス2名、上級クラス2名と大学生以上レベルの学習者を2名で人員を配置する。ChatGPTを利用する組にChatGPTプログラムを提供し、1が月でトレーニングする。

3.5 評価と分析

作文の質、トピックに対する適切な反応を各自ChatGPTと教員から毎回評価する事と、学生にフィードバックの有効性などを評価してもらい、ChatGPTを活用したトレーニングの効果を定量的・定性的に分析する。

4. 期待される結果

4.1 作文スキル向上

学習者がChatGPTとの対話を通じて実践的な作文トレーニングを行うことで、日本語の表現力や論理的な展開が向上することが期待される。

4.2 リアルな対話体験通じて言語能力向上

ChatGPTの言語生成技術を活かした対話により、学習者はリアルな日本語コミュニケーション体験を得ることができ、日常生活やビジネスでの応用能力

が向上するでしょう。

4.3 個別化されたフィードバックで独学力の向上

ChatGPTが提供する個別化されたフィードバックにより、学習者は自身の課題や強みを把握しやすくなり、具体的かつ効果的な改善が期待できるだろう。

4.4 学習の効率向上

ChatGPTを活用したトレーニングは、従来の学習手法に比べて効率的であり、短期間でのスキル向上が期待される。

4.5 新たなトピックで新知識の獲得

ChatGPTが多岐にわたるトピックに対応できるため、学習者は幅広い分野での作文トピックに挑戦し、新しい知識や表現方法を獲得できるでしょう。

4.6 自主学習の促進

ChatGPTを活用した学習は自主学習の推進に寄与し、学習者が自ら興味を持ったトピックで積極的に学ぶ姿勢が期待される。

これらの予想結果により、外国人日本語学習者はより実践的かつ効果的な方法で日本語作文スキルを向上させることができ、ChatGPTを活用したトレーニングが新たな言語学習手法としての可能性を示すことが期待されるでしょう。

5. まとめ

本稿では、学生発表会の場において、今後、筆者が取り組む研究計画について紹介し、その研究方法や実証実験などを述べた。今後、本研究を進めていき、実証実験や分析と評価を行うことで、本稿で示したような期待される結果が得られるのかを検証していく。

参考文献

- (1) 趙 超超: “学習指導要領から見た中国の日本語作文教育の問題点”, 日本語教育方法研究会誌 2020 年 26 巻 2 号 pp. 136-137 (2020)
- (2) 譚 晶華: “中国大学日本語専攻のシラバスと四・八級試験要領について”, 世界の日本語教育・日本語教育事情報告編 Vol.7, pp.47-589 (2004)
- (3) 平田 歩: “外国人留学生の日本語能力向上の課題: 来日間もない留学生の作文を基に”, 梅光学院大学・女子短期大学部論集 pp.30-36 (2006)
- (4) 山田 優: “大規模言語モデル ChatGPT を活用した翻訳トレーニングと外国語教育”, 第 71 回 大学等におけるオンライン教育とデジタル変革に関するサイバーシンポジウム (2023)
- (5) 外山 愛華: “ChatGPT を活用したエッセイライティング学習の検討”, 第 48 回教育システム情報学会全国大会 (2023)
- (6) 柳瀬 陽介: “AI を活用して英語論文を作成する 日本語話者にとっての課題とその対策”, 情報の科学と技術 2023 年 73 巻 6 号 p. 219-224 (2023)
- (7) Tom B. Brown: “Language Models are Few-Shot Learners” (2020)